



けやき

Saitama University Newsletter

Topic

埼玉大学OB、OGに埼玉大学フェロー称号を授与

埼玉大学は平成22年度から「埼玉大学フェロー」制度を発足させました。

本学の卒業生、修了生等で、特に経済、文化、スポーツ、学術、政治、法曹、行政、教育、国際交流等の各界で顕著に優れた業績または功労を挙げた方に「埼玉大学フェロー」の称号を授与し、その功績を讃え、広く社会に顕彰する、というものです。在学中の学生や多くの卒業生たちに、母校に一層誇りをもってもらい、フェロー称号の授与を目指して活躍してもらいたい、と願っています。

平成22年11月22日の授与式には池澤氏、11月24日には林野氏、溝口氏、12月21日には加藤氏、椎橋氏を招き、多くの学生・教職員の前で上井学長からフェロー称号記を授与し、その後、各フェローから在学中の思い出話や、これまでの経験に基づいた学生へのメッセージが述べられました。

<埼玉大学フェロー>



池澤 夏樹氏

小説家、詩人、翻訳家
埼玉大学理工学部に通学後、小説家として多くの作品を執筆し文学の発展に貢献。芥川賞受賞(1988.1)



林野 宏氏

株式会社クレディセゾン代表取締役社長
埼玉大学文学部卒業後、経営者としての広い識見と創造性により日本経済の発展に尽力



溝口 紀子氏

静岡文化芸術大学文化政策部准教授
埼玉大学教育学部在学中、バルセロナ五輪大会(1992)において銀メダルを獲得し、その後指導者として世界的に活躍



加藤 基氏

在ガボン共和国特命全権大使
埼玉大学教養学部卒業後、外交官として諸外国との関係強化に努め、国際社会へ多大なる貢献



椎橋 章夫氏

東日本旅客鉄道株式会社執行役員
埼玉大学理工学部卒業後、非接触型ICカード「Suica」を開発し、交通機関のみならず社会生活の利便性の向上に貢献



学生宿舎のリニューアル

改修中だった学生宿舎が昨年12月に完成し、新たにスタートいたしました。すでに1月から学部1年生を中心に85名の在校生が生活を始めています。4月には新入生を迎えて全居室に学生が入居することとなります。

また、去る12月20日には、新しく入居する学生とご父兄や近隣住民の皆様並びに教職員が出席して完成披露会を盛大に執り行いました。

【居室数と共用室】

建物は1号館から3号館の4階建。全室個室です。

1号館(女子専用)は128名、2号館及び3号館(男子専用)は144名の定員です。

共用室は、男女別のコインランドリー各1室、会合室3室、調理室1室です。

【居室の広さと設備の数々】

居室は13.75㎡です。ベッド・机・椅子・シューズ収納ボックス・ユニットバストイレ・エアコン・IHレンジ付キッチン・カーテン・テレビ端子・インターネット端子・照明を備えています。



エアコン・机・椅子・ベッド



学生宿舎1号館



テープカット(左から上井学長、入居者代表の教養学部1年藤原梓さん、理学部1年塚本裕紀さん、加藤学生担当副学長)



日本で、世界で活躍する埼大生

学術研究や課外活動の場で、埼大生が大活躍しています。埼玉大学に入学して、先輩たちを手本としてがんばってみませんか。

- The Third Asian Symposium on Plant Lipids (ASPL 2009) Best Poster Award (2009年11月27日～11月29日)
 - ・早川 慶紀さん(大学院理工学研究科博士前期課程2年)

- 香港国際柔道大会2010(2010年3月4日～3月8日)
 - ・男子100kg級準優勝 松永 正太郎さん(教育学部3年)
 - ・男子66kg級優勝 佐々木 優さん(教育学部2年)

- 平成21年度電子情報通信学会 学術奨励賞(2010年3月17日)
 - ・島田 裕さん(大学院理工学研究科博士後期課程2年)

- 日本化学会第90春季年会 学生講演賞(2010年4月14日)
 - ・谷川 智春さん(大学院理工学研究科博士後期課程3年)

- 2010年フランスジュニア国際大会 女子57kg級準優勝(2010年5月16日)
- 2010年韓国ジュニア国際大会 女子57kg級優勝(2010年7月11日)
 - ・金子 瑛美さん(教育学部1年)

- 第66回学生名人戦将棋 第三位(2010年5月22日～5月23日)
 - ・梶間 隆伸さん(工学部2年)

- 第37回全日本学生パワーリフティング選手権大会(2010年5月30日)
 - ・男子67.5kg級優勝及び最優秀新人選手賞 伊勢崎 勝史さん(理学部2年)
 - ・男子60kg級第三位 各務 彰紘さん(工学部4年)

- 第57回東部地区国公立水泳競技大会(2010年6月20日)
 - ・200mバタフライ第一位 高橋 尚生さん(理学部4年)
 - ・200m背泳ぎ第一位 池田 真人さん(教育学部4年)

- 第37回東日本学生相撲個人体重別選手権大会(2010年7月25日)
 - ・85kg未満級第三位 児玉 朋隼さん(教育学部1年)
 - ・75kg未満級準優勝 中曽根 誠さん(教育学部2年)

- 第59回関東甲信越大学体育大会(2010年8月18日～27日まで)
 - ・水泳種目 100m背泳ぎ第一位及び200m背泳ぎ第一位 池田 真人さん(教育学部4年)
 - ・水泳種目 50m自由形第一位 里村 友実さん(教育学部4年)
 - ・陸上競技 女子円盤投第一位 富沢 舞子さん(教育学部2年)
 - ・柔道 男子個人90kg級第一位 門脇 直生さん(教育学部1年)
 - ・柔道 男子個人73kg級第一位 行武 雄大さん(教育学部3年)
 - ・柔道 女子個人52kg級第一位 倉持 梨奈さん(教育学部3年)
 - ・弓道部男子団体優勝
 - ・サッカー部優勝

- 第52回全国国立大学柔道優勝大会 準優勝(2010年7月4日)
- 第19回全日本学生柔道優勝大会 女子3人制優勝(2010年6月27日)
 - ・柔道部

- 第23回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)奨励賞(2010年8月6日)
 - ・ダンス部



学長を囲み記念撮影

教養学部

文化人類学なう。

和田 風人さん

教養学科 文化環境専修課程 文化人類学専攻 4年
(函館ラ・サール高等学校)

何がいったって、勉強が楽しいことだ！僕は文化人類学という専攻で学んでいるのだけど、日々新しい何かに触れる事が出来る。ニューギニアの呪術やペルーの遺跡発掘から、東南アジアやアフリカの紛争・現代的な問題まで深く学ぶことができる。それらの全てが、日本で暮らしている僕たちには新鮮以外の何物でもない。その新鮮で独特な雰囲気惹かれて文化人類学から抜け出せなくなる、なんていう人も多々いるのではないだろうか。

独特な学問である文化人類学には、非常に個性の強い独特な人間ばかりが集う。ここではあえてその内容を伏せる事

にするが、実際に入学して確かめてほしい。まるで「動物園」(ある学生談)である。それぞれに違う「動物」がお互いに刺激され合うのは至極当然のことで、僕自身大いに影響されている。彼らを見ていると既成の枠に収まらないことをやりたくなる。そしてその可能性が自分の身体に満ち満ちていることに誰もが気付くはずだ。

文化人類学、人を惹きつけ魅了する。そんな学問が、僕は大好きだ。



実習にて、愛知にある野外博物館リトルワールドへ



単身NZへ旅行。現地の家族に拾われる



文化人類学の飲み会「ビール祭り」の一場面

<http://www.new.kyy.saitama-u.ac.jp/>

教育学部

夢持つ旅を。

土田 貴好さん

学校教育教員養成課程 教科教育コース 保健体育専修 3年
(新潟県立新潟商業高等学校出身)

埼玉大学に入学しダンス部として活動し始めてから早3年…。教育学部では提携校であるアメリカの西オレゴン大学と研究・文化交流を毎年行っているが、それに初めて学生が参加することになり、私を含むダンス部員5名が11月5-14日の10日間アメリカで過ごす機会を得た。いつか海外で踊ってみたいという夢を持っていた私にとってそれはとても素晴らしい経験だった。

西オレゴン大学の学生達と一緒にダンスの授業を受けたり、共同でダンスコンサートを創り上げたりと、自分が専門としているダンスについて大きな刺激を受け、逆に自信にもつながった。また、最初は心配していた英会話であるが、いつの間にか自然に英語でコミュニケーションしている自分に気づき(とうとう日本人同士でも英語が飛び出すようになった!)、英語という壁、外国という壁が一気に取り払われた事が一番の大きな変化(収穫)であったかもしれない。

その他にも、文化交流の一環として観光名所を案内してもらい、日本では味わえない楽しさを満喫した。大学に入ってこんな貴重な経験をするとはいってもいなかった。アメリカに行ったことで人生観が大きく変わり自分の可能性や新たな考えが生まれ、生き方そのものを見つめなおすきっかけとなった。学生生活ではこのように思いがけない大きな出会い

やチャンスに巡り合える可能性がある。そういった出会いを大切にしたり、チャンスを生かしたりして、これからも充実した大学生活をおくっていきたい。



ダンスの授業風景
-Maple Holeにて-



アメリカの歴史を知る
-Air and Space Museumにて-

<http://www.edu.saitama-u.ac.jp/>

ここがいのよ!埼玉大学

在校生が独自の目線で、校風・雰囲気、良さ、そして皆さんへのメッセージを送ります。



埼玉大学イメージキャラクター
メリンちゃん

“ゼミナール連合会”って?

経済学部

児玉 実可子さん

社会環境設計学科 3年 (宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校)

経済学部には3つの学科があり、その中にもたくさんの専門科目があります。私たち経済学部生は自分の興味のある科目について、その専門研究をしている教授のゼミに入って勉強します。ゼミの数は50近くあります。ゼミナール連合会は、ゼミをもっと充実したものにするために、さらには経済学部生同士の交流をもっと深めるため、各学年から集まったメンバーで活動しています。合言葉は「経済学部を盛り上げよう」です。

週1回のミーティングだけでなく、チャットを使ってこまめにやりとりをして、活動の方針やイベントの企画を練っています。具体的には、ゼミ対抗のスポーツ大会や、ゼミ紹介誌の作成、4年生の卒業パーティーの運営などたくさんの企画があります。最近では、経済学部OBの方たちと連携して経済学部生のための就職支援セミナーも開始しています。

自分たちのアイデアと行動力次第で何にでもチャレンジすることができる、これが大学生の醍醐味です。勉強だけでなく、“人間力”もアップさせてくれる大学生活は日々充実すること間違いなしです。



ゼミ対抗バレーボール大会

<http://www.eco.saitama-u.ac.jp/>

化学を通じた体験

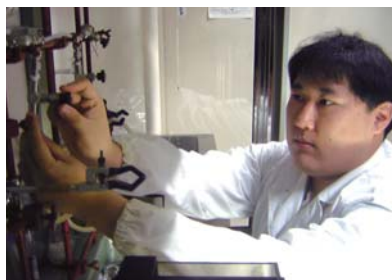
理学部

鈴木 康修さん

基礎化学科 4年 (埼玉県立所沢北高等学校)

基礎化学科では、1年生のうちから系統的に「物理化学」、「無機・分析化学」、「有機化学」を学んでいきます。また、様々な化学実験を行うため、色々な反応や現象を目の前で見ることができ、楽しく化学を学ぶことができます。実際の実験では時に失敗してしまうこともあります。なぜこんな事が起こるのか、なぜそのような結果になったのかをあれこれ考えたり、友人と議論したり、本で調べたりすることはなかなか楽しかったりします。さらに、4年次に取り組む「卒業研究」では、一つの研究課題に取り組み、本で調べても見つからない、むしろこれから本や論文になるような結果に対し考察をしていくことになります。

基礎化学科にはこのような様々な体験をする機会があり、またそれをサポートしてくださる先生方もいらっしゃいます。このような恵まれた環境で、化学をより深く学んでみませんか?



卒業研究の様子



学生実験の様子

<http://www.sci.saitama-u.ac.jp/>

工学部

可能性がいっぱい！

栗田 庸さん

建設工学科 4年 (福島県立福島東高等学校)

建設工学科は、道路、橋、河川、鉄道等の社会資本施設に関する研究および教育をしている学科です。物理や数学といった基礎科目に加え、さまざまな専門分野を学ぶことができます。専門分野は、都市計画、土質工学、水理工学、材料工学、建築など、とても幅が広いです。そのため自分の興味のある分野を見つけることができ、将来の選択肢も多いです。また、土木分野の社会で活躍している方々から直接講義を受ける機会もあり、良い意味での迷いや緊張感を感じることができ、大変有意義なものです。

現在、私が所属しているのは交通計画を扱う研究室です。学生も先生方もここに集まる人は誰もが個性的で魅力的、常に良い刺激を受けています。研究では、地域住民や行政、社会人の方々と共に議論する機会もあり、知らなかった世界がどんどん見えてくるのを実感する毎日です。

学生生活を充実させるため、興味のあることは積極的に、やらなければいけないことは一生懸命に取り組みながら過ごしています。



研究活動では、住民との話し合いにも参加しました



バスの研究で、住民にチラシを配布

<http://engineering.saitama-u.ac.jp/>

卒業生からのメッセージ

一日一日を大切に

日本製粉株式会社勤務

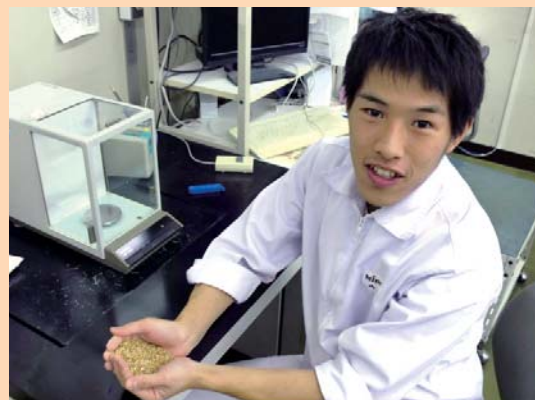
山内 優輝さん 大学院理工学研究科 生命科学系専攻 分子生物学コース 2010年3月修了

こんにちは。現在、私は製粉工場で製造管理を行っています。安心・安全だけでなく、安定した品質の小麦粉をお客様に提供するために最適な製造条件の設定など製造全般の管理を行っています。

私が円滑に仕事をするために心がけていることはコミュニケーションをとることです。コミュニケーションがとれないと、自分の考えが相手に伝わり難く、また相手の考えも理解出来ないという状況になってしまいます。私は埼玉大学在学の6年間でその力を養うことができました。埼玉大学では良き仲間、良き先生との出会いがありました。その一つ一つの出会いが私の財産です。

また、大学での生活は自由が与えられます。数多くのことにチャレンジする絶好の場です。もちろん失敗することもあるでしょう。しかし、その経験は必ず将来自分の助けになりま

す。充実した大学生活の実現のために、一日一日を無駄にせぬよう積極的に過ごしてください。



小麦と私

教員コラム

伝統文化と現代メディアの繋がり

Zilia Zara-Papp 准教授 《教養学部日本・アジア文化専修課程》

私は、伝統的なアートのモチーフやコンセプトが現代のメディアにどのように活かされ、どのように応用できるか、ということに研究しています。研究の対象領域としては、西洋美術史とは独立に発展してきたアジア太平洋地域の芸術に集中していますが、ヨーロッパやアメリカなどのアートと比較する視点も加味しながら、グローバルな立場にたって研究を進めています。

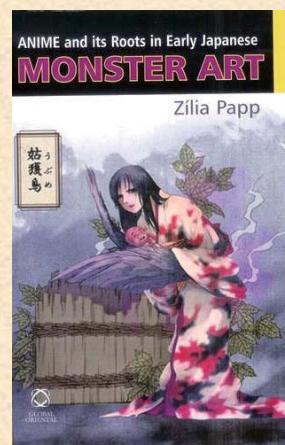
日本の美術史と現代アート、現代メディアの役割を比較する研究としては、日本の古い妖怪画と、映画、アニメ、漫画、ゲームなどの現代メディアに登場する妖怪画を比較した研究成果を二冊の本として出版しました。現代メディアを美術史のなかに理論的に位置づけた研究書は世界的にもまだめづらしいので、この二冊の本は外国の研究者からも注目されています。

また、アジア、オーストラリア、オセアニアの小さな島国における現代アートも研究しています。オーストラリアとニュージーランドは比較的新しく独立した国ですが、もっと古くからの伝統的な文化も残っています。この伝統文化をどうやって新しい技術を使って表現し応用できるのか、私にとってとても興味深い研究課題です。オセアニアの伝統的なアートは西洋美術におけるジャンルの観念(例えば油絵、彫刻、デッサン、建築など)とはまったく異なっていて、アートの意味に儀礼、道具、動物の生育なども含ま

れていました。このような文化の捉え方が、現代社会においてダンスやスポーツ、パフォーマンスを代表とするジャンルにどのように変容し活かされているか、というテーマも私の研究課題です。



研究のため、妖怪映画にエキストラとして出演



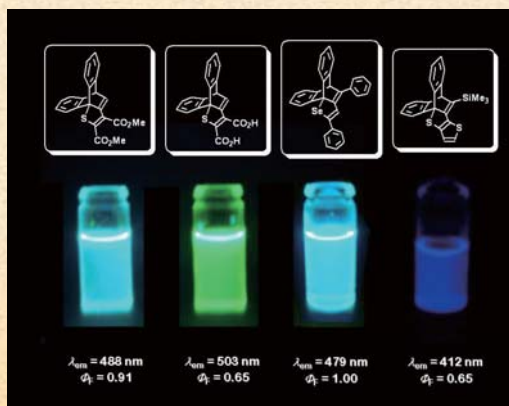
イギリスとオランダで出版された本。アニメ、マンガ、日本映画の伝統的な妖怪画にあるルーツを紹介

周期表を理解する～典型元素と遷移金属元素の相乗効果

石井 昭彦 教授 《大学院理工学研究科物質科学部門物質基礎領域(理学部基礎化学科)》

皆さん、まずは元素周期表を思い浮かべて下さい。おおざっぱに言って、左端と右側の3分の1にあるのが典型元素、そして中央部を占めているのが遷移金属元素です。私の専門の有機化学は、炭素、水素、酸素、窒素などの典型元素で構成される化合物の学問ですが、最近(2001、2005、2010年)のノーベル化学賞を見れば明らかかなように、典型元素と遷移金属元素それぞれの特徴とそれらの間の相互作用をいかにうまく使い、どのようにして相乗効果を引き出すかということが研究を進める上でとても重要です。

私の研究室では特に酸素族元素(硫黄やセレンなど)と遷移金属元素を利用した反応により、新しい構造の強蛍光性化合物やアルケン重合を高効率に触媒する化合物の合成に成功しています。周期表内の元素の組合せは無数にあり、これからも新しい反応や新しい性質をもつ物質を発見する可能性は無限にあると言ってよいでしょう。私が学生の頃の無機化学の先生から聞いた言葉に、「化学は周期表を理解すること」、があります。たくさん若い人にそのような基礎を追求する学問を目指して欲しいと思います。



合成した蛍光量子収率の高い化合物



2010研究室旅行(筆者は右から5番目)

サークル紹介

弓道部

的に向かって、一射入魂

私たち弓道部は現在男子女子共に中関東1部リーグに所属しております。部員全員が練習に励んでおり、男子は昨年関東甲信越大会で優勝する事が出来ました。部員の中には高校からの経験者だけでなく、大学に入ってから弓道を始めた人もいます。そしてそんな人でも先輩からの熱い指導の下に選手として活躍しています。年に数回ある部内戦や合宿はとても楽しく、とても有意義な時間を過ごすことが出来ます。弓道というと「怖い」「危ない」といったイメージがあるかもしれませんがそんなことはありません

ん。しっかりと気を付けてさえいれば危ない事なんてありません。私が思う弓道の魅力の一つとして、男女が同じルールの下で勝負ができる事だと思います。的に大きさも勝利条件もまったく同じで体格や筋力の男女間に起こるハンデは一切関係ありません。場合によっては有段者に初心者が勝つことだって出来ます。要は「当てれば勝ち」の世界です。そこが面白い所の一つだと思います。大学でも弓道がやりたい方、弓に興味がある方、ぜひネットで「埼玉大学弓道部」で検索を。そして弓道場に足を運んでみてください。

弓道部 主将 倉沢秀志さん

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 理科専修 2年
(長野県立屋代高等学校出身)



関東甲信越大会優勝!!



長野での合宿

美術部

やりたいことをやる部

私たち埼玉大学美術部は、部員約30名で活動しています。定期的な活動としては、春部展、夏部展、むつめ祭、冬部展という季節ごとの展示会を開いています。強制参加ではなく作りたいものを個人で持ちよって開くのです。油絵からCG、立体作品から写真までとにかく自分の作りたいものを、作りたい時に作ります。この部展では基本的に個人制作なのですが、ここ数年は合同制作にも力を入れています。一昨年12月には、大学内にある第二食堂さんからコラボレーションのお話をいただいて、食堂内を予告無く

クリスマス風に飾りつける「二食ジャック」という企画を行いました。また、今年も秋～12月にかけて、北浦和駅近くの居酒屋さんの看板制作を、デザインを起こすところから始めて完成させました。このようにやりたい企画があればアイデアを部員がーから出し、協力し楽しみながら実現しています。埼玉大学美術部だから出来ることを少しでも知っていただけたら幸いです。興味を持った方は、是非美術部に足を運んでみてください!

美術部 部長 石原 友希恵さん

教養学部 教養学科 ヨーロッパ文化・アメリカ研究専修課程 アメリカ研究専攻 3年
(石川県立羽咋高等学校出身)



居酒屋の看板制作の様子



合宿で恒例の美術体験

埼玉大研究チームが鉛を含む芳香族分子の合成に世界初の成功

大学院理工学研究科斎藤雅一教授らの研究チームが、芳香族性と呼ばれる重要な概念を拡張する試みとして、鉛を含む芳香族分子の合成に世界で初めて成功しました。

これは教科書の一ページを書き換える学術的に真に価値のある成果で、新しい骨格を持つこの分子を生かした電池材料や触媒が誕生するかもしれません。

この研究成果は、2010年4月16日発行の米科学誌「Science」で発表され、2010年4月22日発行の英科学誌「Nature」でも紹介されました。



斎藤教授(前列左から2人目)

学内合同企業説明会を開催

就職を希望する学生を対象にした、学生支援センター主催の学内合同企業説明会を平成22年11月8日(月)～11月12日(金)及び11月29日(月)～12月3日(金)の計10日間、開催しました。

多くの企業の参加を得て、学生にとっての進路選択に大いに役立つものとなりました。



説明会の様子

◆趣 旨

就職活動を行う学生に対して、企業関係者(人事採用担当者、OB・OG等)を招き、企業の概要や業務内容、採用情報等を直接説明していただき、就職活動に必要な業界研究・企業研究に役立つ情報を提供

◆実施方法

各企業毎にブース形式により説明
午前午後で企業入れ替えにより、1日に2回実施 <A>10:00～12:30 14:30～17:00
各回6～7社の企業が参加し、2時間30分の中で学生入れ替え制により各企業3回説明を実施

◆参加企業数：124社(首都圏、県内等優良企業) ◆参加学生数：4,700名(延べ)

information

いつでも気軽に埼玉大学へ

入試期間中を除き、いつでも自由にキャンパス内を見学することができます。(ただし、講義棟や研究棟などの中には入れません。) また、入試期間中を除く平日の9時から17時の間は、過去の学部入試問題を入試課の窓口で閲覧することができます。 どうぞお気軽に埼玉大学へお越しください。

最新の埼玉大学の入試情報にアクセス

埼玉大学ホームページにアクセスして、訪問者別メニュー(画面左側)最上部「受験生の皆さんトップ」をクリックしてください。



入試に関するお問い合わせ:

埼玉大学アドミッションセンター 電話 048-858-3036